PART2　練習問題（敬意の方向）

問一　傍線部に用いられている敬語の説明として、最も適当なものを次の中から選べ。

重景（しげかげ）かしこまつて、「何の御慎みか候ふべき。上人をば生身の仏と承る。～」など、こざかしく申しければ、…

ア　語り手から法然上人への敬意を表す謙譲語
イ　語り手から三位中将への敬意を表す謙譲語
ウ　重景から法然上人への敬意を表す謙譲語
エ　重景から三位中将への敬意を表す丁寧語
オ　法然上人から三位中将への敬意を表す謙譲語
カ　法然上人から三位中将への敬意を表す丁寧語

問二　傍線部の説明として正しいものはどれか。次の中から選べ。

東三条院、石山にまうでて還御有りけるに、…

東三条院＝長保三（一〇〇一）年九月に石山寺に参詣し、その年の閏十二月に亡くなった。
石山＝石山寺。近江の国（現滋賀県）の古寺。

ア　謙譲語。作者から石山寺への敬意。
イ　尊敬語。東三条院から石山寺への敬意。
ウ　謙譲語。作者から東三条院への敬意。
エ　謙譲語。東三条院から石山寺への敬意。
オ　尊敬語。作者から石山寺への敬意。

問三　次の傍線部はそれぞれ誰に対する敬意を表しているか答えよ。

「蔵人の少将が、まづ召す[a]」と言ふめれば、…
（蔵人の少将が）三の君に「これ（＝手紙）見給へ。惟成が落としたりつるぞ」とて奉り[b]給ふ[c]。

a＝
b＝
c＝

問四　傍線部の説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

公助が将どもに、「父の年八十に罷（まか）り余りたるは。『いたう腹を立て、逃げむを追ひ候はむ程、倒れもこそ仕れ』と思ひ給へて、打たれ臥して候ひつるなり」と答へつれば、将どもいとほしかりにけり。

ア　将達を敬う尊敬表現
イ　将達を敬う謙譲表現
ウ　将達を敬う丁寧表現
エ　公助を敬う尊敬表現
オ　公助を敬う謙譲表現

問五　傍線部を説明した文の空欄に入れる語として最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

*泉(いづみ)の大将、*故左のおほいどのにまうでたまへりけり。ほかにて酒などまゐり、酔(ゑ)ひて、夜(よ)いたくふけて、ゆくりもなくものしたまへり（＝突然おいでになった）。*大臣(おとど)おどろきたまひて、「いづくにものしたまへるたよりにかあらむ」など聞こえたまひて、御格子(みかうし)あげさわぐに、…

注　泉の大将…藤原定国。
　　故左のおほいどの…藤原時平。
　　大臣…藤原時平。

「聞こえ」は［A］に対する［B］、「たまひ」は［C］に対する［D］。

ア　泉の大将　　イ　故左のおほいどの　　ウ　語り手　　エ　読者
オ　尊敬語　　カ　謙譲語　　キ　丁寧語

A＝　　B＝　　C＝　　D＝

〈Memo〉

第30講 PART2 確認問題

①　傍線部の説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

（聖海上人（しょうかいしょうにん）は）神官を呼びて、「この御社（みやしろ）の獅子（しし）の立てられやう定めてならひあることに侍らん。ちと<u>承ら</u>ばや」と言はれければ、…

ア　作者から聖海上人への敬意を表す尊敬語　　イ　作者から神官への敬意を表す謙譲語
ウ　聖海上人から神官への敬意を表す謙譲語　　エ　聖海上人から神官への敬意を表す尊敬語

②　傍線部の中には、敬意の方向が他と異なるものが一つ含まれている。その語として最も適当なものを、次の中から選べ。

夜うちふくるほどに、（中宮は）題出（いだ）して、女房にも歌よませ<u>給ふ</u>（ア）。みなけしきばみゆるがしいだすに、（私は）宮の御前近く<u>候ひ</u>（イ）て、もの<u>啓し</u>（ウ）など、ことごとをのみ言ふを、大臣（おとど）<u>御覧じ</u>（エ）て「など、歌はよまで、むげに離れゐたる。題とれ」とて給ふを、…

③　傍線部は誰から誰に対する敬意を表しているか。最も適当なものを、次の中から選べ。

（人々が）「夜（よ）ふけ<u>侍り</u>ぬ。」と聞こゆれど、（光源氏は）なほ入（い）り給はず。

ア　人々から光源氏に対する敬意　　イ　人々から読者に対する敬意
ウ　作者から光源氏に対する敬意　　エ　作者から読者に対する敬意

④ 傍線部の説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

*帥殿（そちどの）の南の院にて、人々集めて弓あそばししに、*この殿のわたらせ給へれば、思ひかけず、あやしと*中ノ関白殿おぼしおどろきて、いみじう饗応（きやうおう）し（=もてなし）申させ給ひて、…

注　帥殿…藤原伊周（ふじわらのこれちか）。
　この殿…藤原道長（みちなが）。
　中ノ関白殿…藤原道隆（みちたか）。伊周の父。

ア「申さ」はこの殿に対する丁寧語、「給ひ」は中ノ関白殿に対する謙譲語である。
イ「申さ」は中ノ関白殿に対する謙譲語、「給ひ」はこの殿に対する尊敬語である。
ウ「申さ」はこの殿に対する謙譲語、「給ひ」は中ノ関白殿に対する尊敬語である。
エ「申さ」は中ノ関白殿に対する丁寧語、「給ひ」はこの殿に対する謙譲語である。

⑤ 傍線部の説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

中将、人々引き具して帰り参（まゐ）りて、かぐや姫をえ戦ひ止めず成りぬる事、こまごまと奏す。

ア「言ふ」の尊敬語で、作者から中将に対する敬意を表す。
イ「言ふ」の謙譲語で、作者から天皇に対する敬意を表す。
ウ「言ふ」の尊敬語で、中将からかぐや姫に対する敬意を表す。
エ「言ふ」の謙譲語で、中将から天皇に対する敬意を表す。

第30講 PART2 解答

問一 エ

問二 ア

問三 a 蔵人の少将　b 三の君　c 蔵人の少将

問四 イ

問五 A ア　B カ　C イ　D オ

第30講　PART2　確認問題　解答

〈解説〉

① 会話文中で用いられているので、話し手（＝聖海上人）からの敬意。「承ら〔承る〕」は謙譲語。謙譲語は客体（〜を・に）に対する敬語。「神官にお聞きしたい」という文脈であるので、神官への敬意を表す。よって、ウが正解。

② アは尊敬語で、主体である中宮を敬う。イは謙譲語で、客体である中宮を敬う。ウ「啓し〔啓す〕」は「言ふ」の謙譲語で「申し上げる」。「啓す」は言う相手は必ず「中宮・東宮」の誰かである。ここでは中宮を敬う。エは尊敬語で、主体である大臣を敬う。よって、エが正解。

③ 会話文中で用いられているので、話し手（＝人々）からの敬意。「侍り」はここでは丁寧の補助動詞。会話文の場合、丁寧語は聞き手（＝光源氏）への敬意を表す。よって、アが正解。

④ 「申さ〔申す〕」は謙譲語。謙譲語は客体（〜を・に）に対する敬語。「この殿をたいそうもてなして」という文脈なので、この殿を敬う。「給ひ〔給ふ〕」はここでは尊敬の補助動詞。尊敬語は主体（〜は・が）に対する敬語なので、中ノ関白殿を敬う。よって、ウが正解。

⑤ 「奏す」は「言ふ」の謙譲語で「申し上げる」。地の文なので、作者からの敬意。「奏す」は、言う相手は必ず「天皇・上皇・法皇（＝出家した上皇）」の誰かである。よって、イが正解。

〈解答〉

①　ウ　②　エ　③　ア　④　ウ　⑤　イ